

関東共晶会の最近の活動状況

共晶会関東支部では毎年11月から12月に支部総会を学士会館において開催しています。平成22年度は第25回総会として、12月19日（日）11：00から3時間、約20名の同窓生が出席しました。

今回は、名古屋大学エコトピア科学研究所・所長の高井治教授に「エコトピア科学研究所の最近の活動状況」と題するご講演をお願いしました。ご講演では、エコトピア科学研究所が、問題解決型の戦略的研究所として、ヒューマン系融合研究、エネルギー系融合研究、エコロジー・エコシステム系融合研究というプロジェクトテーマを設定し、研究所内外の自然科学と人文・社会科学系研究者との共同研究体制をとりながら、その課題解決に取り組んでいらっしゃる内容だけでなく、最近の大学の近況などユーモアを交え、楽しくお話していただきました。

ご講演の後には懇親会に移り、先生を囲んで楽しい一時を過ごしました。懇談会では、各参加者が簡単な自己紹介および取り組んでいる仕事や社会活動を含めた近況を報告し、和やかな雰囲気の中で忌憚のない質問や意見が数多く出されて、時間が足りなくなる程でした。さすがに、このような会に参加される人は年齢にかかわらず元気にあふれた生活をされているのが印象的でした。最後に記念撮影し、来年の再会を約して閉会となりました。ただ、残念なのは若い卒業生の参加が少ないことでもあります。個人情報への制約があり、名簿等の作成・更新が難しく、このITの発達した時代においても、知人ベースに輪を拡げるといった地道な展開を余儀なくされております。次回以降は友人・知人を誘い合わせて、幅広い年齢で構成される会を期待しています。

共晶会関東支部では支部総会の他に、入交前幹事が全学同窓会関東支部幹事会にも出席しており、名大ネットワーク作りや名大基金の募金と言った活動に参画しています。今後は共晶会の域を脱して全学活動にも積極的に関わり、名大の社会との連携強化にも貢献していきたいと考えています。

（共晶会関東支部長 津山青史）



平成22年度 共晶会関西支部活動報告

本年より、共晶会関西支部の支部長を家田様より引き継ぎました木村でございます。

3年間、関西支部活動を会員の皆様と一緒に盛り上げて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

このたびの東日本大震災では想像を絶する壊滅的な被害がもたらされ、幾多の尊い生命が失われました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、関西支部では、毎年3月第2土曜日に総会および懇親会を開催しておりますが、本年は3月12日と大震災の翌日であったため、予定通り開催すべきか判断に迷いましたが、近畿地方の公共交通機関への影響が軽微であることや東南海地震との関連性が否定的であること、そして何より毎年再会を楽しみにされているOBの皆様が多数いらっしゃることから予定通り開催することと致しました。総会に先立ち、このたびの大震災で犠牲になられた方々のご冥福を祈り、黙祷をささげました。

本年も、昭和23年卒の大先輩から平成21年卒までの幅広い年代の皆さんが集まり、一部震災の影響で欠席された方もおられましたが、厳粛な中にも楽しい会となりました。本年は、浅井名誉教授、平出教授をお招きし、ご近況や研究内容など大変貴重で興味深いお話をユーモアを交えて聴かせていただきました。

会員の方からお問い合わせがありました全学同窓会について幹事よりご説明申し上げた後、お待ちかねの近況報告。最近は皆さん大変饒舌となり、本年も時間内には終わらないほどの盛り上がりとなりました。最後は「伊吹おろし」の大合唱で締めくくりますが、在学中には歌ったことがなかった若い方々もとても上手になりました。

毎年3月第2土曜日は関西共晶会の日です。個人情報保護の観点から事務局の名簿も最新情報の入手が困難となり、関西の方でもご案内をお届けできない場合がございますので、お問い合わせ、お誘い合わせの上、是非、来年3月10日（土）にはご参加下さいますよう、お待ち申し上げます。関西から日本を盛り上げて参りましょう。

